

令和8年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：051.言語情報科学

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。

問題Ⅰ（共通問題）および問題Ⅱ—Ⅴ（選択問題）のうちの任意の2題の計3題に解答
しなさい。解答は日本語または英語で行い、日本語と英語以外の言語から例をあげるときにはグロスを付けること。

I. 【共通問題】以下のA-Lの中から4つを選び、それぞれについて具体例を挙げて説明しなさい。
なお、問題Ⅰへの解答全体を解答用紙1枚に収めること。

- A) pro
- B) 併合 (Merge)
- C) 束縛原理 A (Binding Condition A)
- D) 事象構造メタファー (event structure metaphor)
- E) 脱従属化 (insubordination)
- F) 所格交替 (locative alternation)
- G) 有生性階層 (animacy hierarchy)
- H) 証拠性 (evidentiality)
- I) 順行形・逆行形 (direct and inverse forms)
- J) プロソディ (prosody)
- K) 適切性条件 (felicity conditions)
- L) 全域構造組織 (overall structural organization)

令和8年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：051.言語情報科学

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字のⅠ、Ⅱ……）ごとに別の解答用紙を用いること。

Ⅱ. 【選択問題】以下の例文を読み、設問に答えなさい。

- (1) Mary found the book that Aaron wrote.
- (2) The book that Aaron wrote might have been found.
- (3) I found the person who wrote the book.
- (4) The person who wrote the book might have been found.
- (5) 真里は太郎が書いた本を見つけた。
- (6) 私はその本を書いた人を見つけた。

問1. (1)～(6)の X バー理論に基づいた樹形図を書きなさい。三角形を使用しないで、構造をすべて示すこと。

問2. (1)、(3)、(5)、(6) の4つの文の中に見られる統語構造の共通点と相違点について説明しなさい。

専門試験

科目名：051.言語情報科学

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字の I、II……）ごとに別の解答用紙を用いること。

III. 【選択問題】以下の英文を読み、設問に答えなさい。

Heiko Narrog and Bernd Heine. 2021.
Grammaticalization. Oxford University Press,
pp.1-2より改変して引用

- 問 1. 下線部 (1) を日本語に訳しなさい。
- 問 2. 下線部 (2) にしたがつたとき、以下の対に見られる「ところ」は文法化の例と言えるかどうか答えなさい。
- a. この公園は景色のいいところだ。
 - b. ちょうどこの公園を散歩していたところだ。
- 問 3. 下線部 (3) が述べる change に該当する現象にはどのようなものが含まれると考えられるか、具体例を上げて説明しなさい。
- 問 4. 下線部 (4) の grammatical と lexical の境界はどのようなものと考えられるか、自身の考えを述べなさい。

令和 8 年度 第 1 回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：051.言語情報科学

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字の I、II……）ごとに別の解答用紙を用いること。

IV. 【選択問題】以下の英文を読み、設問に答えなさい。

Ungerer, Tobias and Stefan Hartmann 2023.
Constructionist Approaches: Past, Present, Future
(Published online by Cambridge University Press) より一部改変

*Herring, Addis: British makers of edge tools

- 問 1. 下線部 (1) にある 2 つの理論の相違について、わかりやすく解説しなさい。
- 問 2. 下線部 (2) で述べられている点について、具体例を用いて解説しなさい。
- 問 3. 下線部 (3) を日本語に訳しなさい。
- 問 4. 例文 (a)-(c) を用いて、let alone 構文の特性を具体的に説明しなさい。

令和8年度 第1回 京都大学大学院人間・環境学研究科 修士課程入学試験問題

専門試験

科目名：051.言語情報科学

(注意) 複数の設問がある場合、解答は、設問（ローマ数字の I、II……）ごとに別の解答用紙を用いること。

V. 【選択問題】以下の英文を読み、設問に答えなさい。

Schegloff, E. A. (1993).
Reflections on quantification in the study of conversation.
Research on language and social interaction, 26(1), 99-128.より一部改変

- 問1. 下線部 (1) のようなアプローチにはどのような問題があるか、本文に従って説明しなさい。
- 問2. 下線部 (2) の指す現象について、その特徴が十分に伝わるような具体例を自身で考えて提示し、説明しなさい。
- 問3. 下線部 (3) を日本語に訳しなさい。
- 問4. 下線部 (4) はどういうことか、具体例を自身で考えて提示し、説明しなさい。
- 問5. 下線部 (5) はどういうことか、具体例を自身で考えて提示し、説明しなさい。